

アマチュア無線を飽きないために

先回迄、自作で良く使われる電子部品について書いて来ましたが、使う目的やどう言った働きをするのか判らないと使えませんよネ、でも、アマチュア無線で使う程度なら、或る程度の理解は出来たのでは? と思います。

今回は、「知っとこ」では無く、趣旨を変えますが、「知って欲しい」って事で書いて見ましょう。

アマチュア無線と言う趣味は、基本的には電波を飛ばす事に有ります。電波を遠くに飛ばすためには、どうすれば遠くに飛ばせるか? これには理屈が必要です、理屈を解釈する為に勉強? が必要です。

理屈が判れば、自分でやって見たくになります。(人、それぞれですが、) やれば、スキルが身に付きます。

(数々の失敗も有りますが) やらない人は、メーカーに頼れば良いでしょう、(お金が有れば) そこで、単に電波を飛ばすだけ、と言う考えから変わって来ます。友達同志、FMでマイクを握って声を出して居るだけでは飽きてしまう方も多いのでは(中には、仕事で使ってる輩も居ますが) と思います。国内のHF帯でもフォーンだけでは、いつかは飽きるものです。フォーンから電信へと移行し、電鍵を叩いて海外とのDXをやっても、100カントリーも追っかければ、飛ぶ限界を感じてしまうでしょう。(アンテナとコンディション次第ですが) 電信で海外とのドラグチューを楽しむ、なんて迄は、相当な年季が掛かるでしょうネ。但し、自分の目的が有って、アワードや、DX記録や、WAJA、WACA、JCC、JCG、他とそこにズッポリ埋まり込んでしまった人達は、目的が達成する迄は、少なくとも続くでしょう。

(目的が遠くは無理ですが) しかし、大した目的も持たず、大して声も出さず、大して手首を動かす訳でも無く、大してDX交信して居る訳でも無く、飽きずにアマチュア無線を楽しんで居る方々も沢山居るには居ます。

こんな方々は何故飽きずに続けられて居るのか? 色々、有るんですよ、こんな方々に限って、他人の局の交信を聞いている(タヌキ)方の時間が多いんです。

只、聞いて居るだけ、じゃ無く、そんな御仁は必ず、右手には半田鋏を握って居る筈(左手かも知れない) いわば、自作派なんです。小さな物作りで有れば、無線機の前の机の上でも工作は出来ます。他人の話を聞きながら、一人でニヤニヤして居る方が、意外と多く、普段は交信して居る声も聞いたことが無い、まして、滅多に顔も見たことが無い、でも、地元のハムフェアの様な大きなイベントには必ず顔を見せる。

こう言った方が減って来たんですよ、個人としての筆者は、こう言った方が大好きです。偶々、出会っても、不愛想に、「ご無沙汰、元気?」の一言だけ、決して多くは語らない、相手の事も聞かなければ、自分が今、こんな事やって居るよ、も話さ無い。変わり者、変人? 人嫌い? そうじゃ無い、解らない事が有って、お尋ねしたら、徹底的に理解する迄、教えて呉れる。本当にアマチュア無線が好きなんだ、と言う事が判る。自分から教えようとしませんが、聞きに来れば親切に教える。学校の個人授業でも、こうは行か無い。自分が好きだから、続けて居るのが判る気がする。教える、って事は、自分で理解しているからこそ、出来る事で、余程、経験と勉強を繰り返した事だろうと思う。

私のようなカボチャ頭では到底ついて行けない。過ぎた昔のいつか、御仁が、ボソッと一言呟いた事を思い出す。「アマチュア無線の資格を取るのに簡単に取らせるからだよ、今の様に講習だけで取らせて居たら、いつかはアマチュア無線の世界が壊れる、単にアマチュア局を増やせば良いってもんじゃ無いよ」今、思えば、その通りに成りつつ有る。年々減少しているアマチュア無線局、他人それぞれにやめて行く理由は様々に有るだろうが、資格を取る時、懸命に勉強した苦労が有れば、簡単に、飽きてしまったから、「や〜めた」は無いただろう。

講習だけにしろ、最低でも、講習を受けた教室で眠い目を擦りながら、講義の先生の話聞いて机に向かって居た(寝て居た方も有るが) 当時を思い出して欲しいもので有る。やめる理由には年齢も一つの理由でも有るが、先程の御仁も年齢に勝てず終活準備に入った。終活と言う言葉が流行しているが、そろそろ私も、その域に来ている。

アマチュア無線の楽しみ方には、こんな楽しみ方も有るんですよ。アマチュア無線って、こうで無ければ成らない、って事は無いんです。趣味ですから好きなように好きな事をやるんですからね、だからと言って、何をやっても構わないと言う訳でも無い、そこには制限も有ります。趣味と言えど、公共の電波を使ってる事ですから、秩序も有れば法も有ります。そりゃア〜、電波法って制限も有りますが、法に基付いてやればそれ以外は、何をしても良いんです。

「好きにやれば〜」って事です。アマチュア無線を引き継ぐ若者を育てる為に、JARLも痛い(失礼)頭を捻り色々サービス? を行っているが、御仁が言われた、増やすだけではダメでは無いか? 増やすのは、JARLの運営の建前で、有り増えるより、減る方が多いのは、事実の今日この頃で有る。講習の中身の充実が大事で有ろうと思う。

ましてや、アマチュア局は、必ずしもJARLに加盟の制限は無い。